

栃木県教育委員会定例会会議録

令和5(2023)年5月9日(火)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席者（教育長及び委員）は次のとおりである。

1 番（教育長）	阿久澤	真理
2 番	陣内	雄次
3 番	板橋	信行
4 番	鈴木	純美子
5 番	金子	達也
6 番	永島	朋子

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教育次長	大森	豊
教育次長	長	裕之
参事（高校再編推進担当）	佐瀬	学
総合教育センター所長	大高	栄男
教育政策課長	高林	実
学校安全課長	松本	正
義務教育課長	山岸	一裕
高校教育課長	山下	拓男
特別支援教育課長	玉田	敦子
生涯学習課長	長野	辰男
健康体育課長	角田	正史
総務主幹	細川	智彦
教育DX推進室長	高橋	伸輔

3 午前11時00分、教育長及び委員5名が出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、本日の会議録署名委員に2番陣内委員を指名した。

5 教育長は、本日の議案等のうち、第1号議案から第3号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨を諮ったところ、全出席者の賛成により非公開とすることに決定した。

6 教育長は、報告を受ける旨を告げた。

7 報告

(1) 中・高校生全国大会優勝者・指導者知事表彰について

教育長から説明を求められ、健康体育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のとおり質問や意見等があった。

[教育長]

- ・ 5月の表彰者数は例年と比較してどうか。

[事務局]

- ・ 例年どおりである。

[教育長]

- ・ とちぎ国体のレガシーといわれるような成果はあるか。

[事務局]

- ・ 5名のうち、とちぎ国体に出場しているのは、2番の横尾選手と4番のシルバ選手で、入賞している。
- ・ レガシーの成果としては、とちぎ国体において、足利大学附属高校がスキー競技で力を付けてきたことで、県外出身の太西選手と横尾選手を本県に取り込めたことがひとつある。
- ・ ボクシングの少年女子種別とパワーリフティングは国体の正式種目にはなっていないので、国体の成果だけとはいえないが、例年このような状況である。

[委員]

- ・ 対象の生徒は、県内に在住、在学しているということでよいか。県外の学校に在学している生徒は対象外か。

[事務局]

- ・ 本県の中高生ということで、本県在住でも県外の学校に在学している生徒は対象外である。

- 8 教育長は、第1号議案から第3号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。
- 9 教育長は、一部順番を入れ替え、審議に移る旨を告げた。
- 10 第2号議案 学校運営協議会の委員の任命について
第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 11 第3号議案 栃木県産業教育審議会の委員の任命について
第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 12 第1号議案 学校職員の懲戒処分について
第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 13 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前11時32分、閉会した。